

多倍長整数

- 長い桁数の整数を扱うオブジェクトです。
- 文字列(または数値)に「大きい整数にする」を送り生成します。
- 数値(内部は倍精度実数)から生成する場合は、初期値が数値の有効数字に制限されます。そのため、10桁以上の場合は数値でなく文字列から生成してください。
 - (例) 文字列から多倍長整数を生成します。

x"1000000"大きい整数にする。

- 数値演算子「+, -, *, /, %」は、内部的にそれぞれ`add`, `sub`, `mul`, `div`, `mod`という命令に変換されて扱われます。論理演算子「==, !=, >, >=, <, <=」も、内部的にそれぞれ`eq`, `ne`, `gt`, `ge`, `lt`, `le`という命令に変換されて扱われます。
- +, -, *, /, %: 四則演算
 - (例) 「3 * 40」を計算し「120」を表示します。

x3大きい整数にする。
ラベルx40作る。

- 足す`add`, 引く`sub`, 掛ける`mul`, 割る`div`: 四則演算。命令として使います。
 - (例) 「3 * 40」を計算し「120」を表示します。

x3大きい整数にする。
ラベルx40掛ける)作る。

- %: 余り
 - (例) 8を3で割った余りを計算し「2」を表示します。

x8大きい整数にする。
ラベルx%3作る。

- 余り`mod`: 余り。命令として使います。
 - (例) 8を3で割った余りを計算し「2」を表示します。

x8大きい整数にする。
ラベルx3余り)作る。

- ==, !=, <, >, <=, >=, <=, >=: 比較演算。両辺が多倍長整数または多倍長整数に変換できる文字列の場合は、多倍長整数として比較されます。
 - (例) 「4 > 3」を計算し「[true]」を表示します。

x4大きい整数にする。
y3大きい整数にする。
ラベルx>y作る。

- **pow**: べき乗。「2の3乗」は「pow2,3ではなく23powと書くことに注意してください」。
 - (例) 「2^70」を計算します。

x2大きい整数にする。
ラベルx70pow作る。

- **abs**: 絶対値

- (例) 「`| -3|`」を計算し「`3`」を表示します。

`x` 3 大きい整数にする。

ラベル `abs` `x` 作る。

- **コード文字:** 指定された文字コード `UTF-16` の文字を返します。

- (例) 文字列 `"A"` を表示します。

`x` 0x41 大きい整数にする。

ラベル `x` 作る。

- (例) 文字列 `" あ "` を表示します。

`x` 0x3042 大きい整数にする。

ラベル `x` 作る。

From:

<https://dolittle.eplang.jp/> - プログラミング言語「ドリトル」

Permanent link:

https://dolittle.eplang.jp/ref_bignum?rev=1580040752

Last update: **2020/01/26 21:12**

